

小田原高校の交通安全の取り組みについて

安全対策委員会は、小田原高校PTAの常置委員会の一つで、小田高生が、安全に安心して学校生活を送れるようバックアップすることを目的に活動しています。活動の中心は、地震などの災害に備えた防災用品の整備で、毎年備品の点検を行いながら、学校と協力して必要な購入品の検討や、校内での情報の共有などを行っています。

交通安全については、例年、交通事故時の対応のための情報を記載したセーフティーカードを生徒に配布しているほか、近年では歩きスマホについての啓発活動を行いました。現在は、通学時の安全確保のための活動を計画しています。

◎セーフティーカードの配布

小田原高校では、自転車による登校は認められていませんが、これまでのPTAの調査で、通学時に最寄駅まで自転車を利用する生徒が40%、また通学時に事故につながる危険を感じたことがある生徒も37%いるという結果があります。

このため、万が一事故に遭ってしまった時に慌てずに対応できるよう、セーフティーカードを作成し、毎年、年度初めに全校生徒に、お便りとともに配布しています。

SAFETY CARD		〈事故の記録〉		〈事故対策の手順〉		〈相手の記録〉	
—もし 事故があったら!!—		日時: 月 日 時 分		① 相手の車のナンバーをメモする	氏 名:		
東立小田原高校 0465-23-1201		場所:		② 相手の名前・連絡先等を書いてもらう (相手の記録)	住 所:		
ケガをしていなくても相手の方に名前、住所、連絡先等を書いてもらいましょう		事故の状況		③ 警察を呼ぶ (どこからかけても110番)	電 話:		
		※必ず学校に連絡を!!		④ ケガの状況によって救急車を呼ぶ (119番)	携 帯 電 話:		
		大丈夫と思っても、病院で診療を受けましょう。		⑤ 大丈夫と思っても必ず病院で診療 (レントゲン等) を受ける	車のナンバー:		
		神奈川県立小田原高校PTA		⑥ 保護者および学校に連絡をする	免許証の番号:		
				⑦ 事故の状況をメモする (可能なとき)			

二つに折ると55×86mm大と携行しやすいセーフティーカード

併せて自転車点検・整備時のチェック項目のほか、自転車条例や自転車損害賠償責任保険への加入義務についても記載しています。小田原高校では自転車損害賠償責任についてPTA賠償責任保険に全生徒が加入しています。

◎通学路点検

小田原高校では、ほとんどの生徒が小田原駅を利用し、駅から学校までの通学路を利用しています。平地にある小田原駅から丘の上の校舎まで続く、通称百段坂と呼ばれる道です。※小田原高校では、生徒の安全面に配慮し、学校までの自転車通学は禁止となっています。

登下校時には大勢の学生が狭い道を埋めて歩くので周辺の交通への配慮も必要ですが、途中、息を切らせて上がる長い階段もあり、周囲への注意も散漫になりがちです。また、以前の調査で多くの生徒が歩きスマホをしている実態があり、安全対策委員会では、道中の注意が必要な個所や整備が必要な場所がないか、点検活動を行うこととしています。



小田原東高等学校 PTA の交通安全に関する取り組み

例年行っている生徒の通学方法実地調査から、約3分の1の生徒が自転車を利用し学校まで自転車で通学しています。また、学校前には信号機があり、国道沿いに面していることもあり、自転車通学者の交通マナーや自転車整備が課題として挙げられています。こうした、自転車通学者の現状を踏まえ小田原東高等学校では、例年、春と秋、年に2回自転車点検を実施しています。今年度の春の点検の結果を以下に示します。

実施方法は、PTA 役員と業者に来校していただき、自転車置き場に駐輪してある自転車を対象に点検しています。その結果を見ると、要整備件数はチェーンが一番多く、その次にブレーキと続きます。チェーン、ブレーキともに自転車を稼働させるための部品となります。大きな事故につながりかねませんので、点検票を生徒へ配布し、注意喚起と自転車整備を呼びかけています。

学校前の信号
国道沿いで交通量が多く非常に危険！



【自転車点検】(2021.6.10 実施)

1. 自転車の利用状況

生徒数 607人

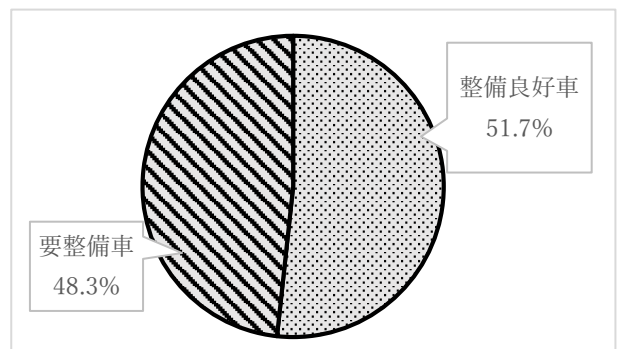
徒歩・自転車利用 297人

2. 点検台数 234台

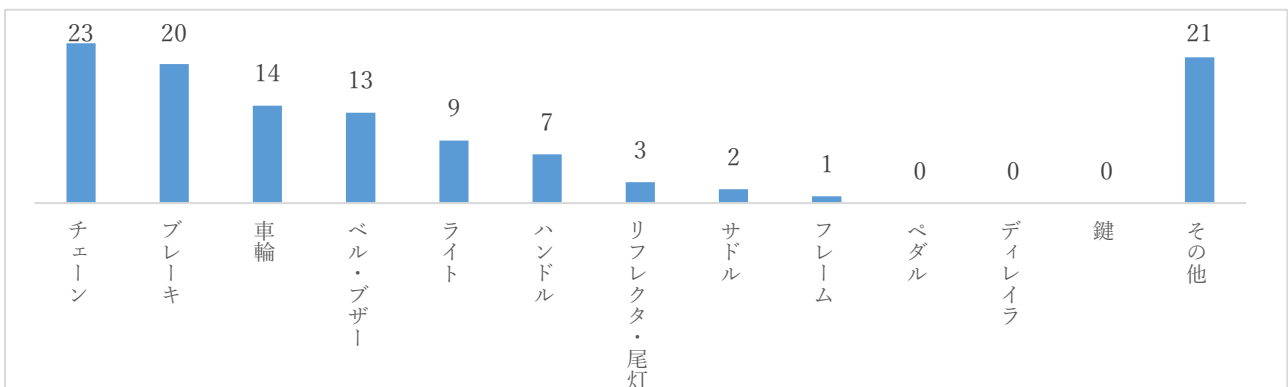
整備良好車 121台

要整備車 113台

約半数の自転車が軽度の整備不良を含め、改善が必要だということが明らかになりました。



3. 自転車点検結果



城北工業高校PTAの交通安全に関する取り組み

小田原城北PTAでは、例年、歩きスマホや自転車乗車中のイヤホン装着者などの人数を確認し、改善するよう呼びかけを行う下校調査や小田原警察署と鴨宮自動車学校の協力により、二輪車免許証を所持している生徒を対象としたヤングライダースクールを実施しています。

今年度はコロナウイルスの影響により、例年のように活動できませんでした。以前行われた下校調査活動を元に、学校・家庭でマナーやルールについて注意してもらうよう賠償金支払い事故事例などを記載した交通安全啓発プリントの作成・配布を企画しています。

本校の交通安全関連行事（例年の活動）

4月	自転車保険加入指導・自転車登録
6月	交通安全推進委員会・第1回下校調査
7月	ヤングライダースクール（鴨宮自動車学校にて）
10月	第2回下校調査

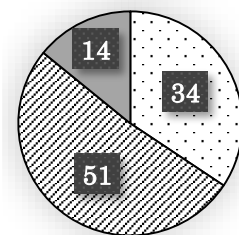


ヤングライダースクールの様子

下校調査結果

第1回（2019/6 実施）

	歩きスマホ	歩きイヤホン	自転車イヤホン
正門	16	22	9
コンビニ前	未確認	未確認	1
スーパー前	未確認	5	3
栢山駅前	18	24	1
のべ	34	51	14

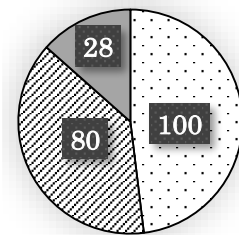


第1回結果

- 歩きスマホ
- ▨ 歩きイヤホン
- 自転車イヤホン

第2回（2019/10 実施）

	歩きスマホ	歩きイヤホン	自転車イヤホン
正門	62	55	17
コンビニ前	3	11	4
栢山駅前	35	20	7
のべ	100	80	28



第2回結果

- 歩きスマホ
- ▨ 歩きイヤホン
- 自転車イヤホン

調査結果より、歩きスマホ・歩きイヤホン・自転車イヤホン いずれも一定数いることがわかりました。

西湘高校の交通安全の取り組みについて

神奈川県立西湘高等学校 PTA 厚生委員会

当校では、全校生徒の約3割の生徒が自転車通学をしています。そこで、生徒たちの通学手段である自転車が安全な状態で保たれているか、厚生委員会の自転車点検行事を行うことにより、一台一台全ての自転車を点検します。

本年度はコロナ禍での実施のため感染予防対策としてアルコール消毒液の設置、体温チェック、軍手、マスクをしての作業で進め、今年も点検作業のみで、各々で修理に行っていただくことにしました。

点検日当日の作業には、神奈川県自転車商協同組合小田原支部の方々にご協力をいただき、自転車の安全点検を無料で実施していただきました。今年は5名の組合員様が作業にあたり、不具合や修理が必要な場合は、整備不良箇所を記入したカードを各自の自転車に付けていき、西湘ステッカーの無い自転車には貼付を促すカードを付けたり、持ち主に修理を促し安全な自転車にさせていただきます。

今年度は6月15日(火)に実施し、点検結果は下記に記した通りになりました。

点検した台数：234台 良好車：149台 整備不良車：85台

整備不良として多かった内容は、チェーンの緩みや、ブレーキの効き具合、ベルが無い、鳴らない、タイヤの空気が少ないなどでした。タイヤの空気入れに関しては、学校の昇降口に空気入れを常備してあるため、案内をして、いつでも空気を入れられる状況を整えております。その他の修理の必要な生徒には近日中に修理をするよう指導しました。

以上



吉田島高等学校PTA交通安全に関する活動紹介

活動の基本 : ヨッシー愛ランド～潤い

生徒たちが安心して登下校できる、生活できる、そんな心の潤いを満たすことができるよう取り組むこと

取り組み内容 : 今年はほとんどの活動が中止になり、報告できる内容がありませんので、例年の取り組みの報告に代えさせていただきます。

交通安全活動として特別な運動にとらわれることなく、学校行事に併せて、生徒との距離を縮めて活動することで、生徒たちの行動や気持ちが把握できるように心がけている。

交通安全運動では、登下校時の通学路がせまく、危険な箇所も多いため、地図上での危険箇所チェック、スマホ運転などへの防止に向けた声かけを実施している。

PTAでは、生徒たちが人間として、横道にそれず、まっすぐ育っていくことを目指して、暖かい目で見守る姿勢を大切にしている。

その中で、特に交通安全指導に関わる次のような活動を実施している。

① 挨拶運動・・・挨拶をとおして積極的な声かけをする。

登下校時の自転車の乗り方や、スマホ、イヤホンなどの利用の注意を促す。

② 地域貢献活動・・・生徒とともにゴミ拾いを行いながら日頃の交通安全の在り方を考える。

③ 文化祭展示・・・交通安全に関するブースを用意、展示をする。

- ・運転免許について
- ・ながらスマホについて
- ・交通標識について
- ・通学路の危険箇所について

クイズ形式やパネル展示を通して交通安全教育を実施する。

(文化祭が延期になり、まだ実施されていないため、紹介のみ)

などなど、基本的にいつも生徒に近いところから、積極的な声かけ、見守ることで交通安全指導につなげている。

今年は①～②については未実施

今後の活動計画 : 相変わらず、危険な登下校の様子が見受けられる。狭い通学路を横に広がりながら歩いたり、スマホを操作しながら、傘をさしながらの運転などが多いことへの注意喚起の方法、安全対策・交通マナーをしっかりと守れるような働きかけなどを検討していく必要がある。

神奈川県立山北高等学校

令和3年度 地区交通安全PTA報告書

令和3年11月10日

5月10日（月）

保護者およそ25名が朝の登校時間前に学校に集まり登校時安全指導を実施した。保護者が、生徒の登校時に危険箇所立って自転車乗車指導を行うとともに、危険箇所の再確認を行った。

また、保護者が生徒の利用する電車に同乗し、生徒の乗車マナーに対する指導を行った。

7月15日（木）

保護者およそ20名が学校に集合し、ボランティアの生徒と、校内の壁のひび割れ等の有無を点検するとともに、ペンキ塗りを行った。

11月6日（土）

今年度の交通安全取り組みの一貫として、スケアードストレートの具体的な実施についての会議を行う。

12月上旬

業者による自転車点検を補佐し、その後、安全な自転車の乗り方の周知に協力する。

1月15日（土）

今年度の交通安全指導の一貫として、マラソン大会時の巡回に関する効果的な取り組みについての会議を行う。

2月1日（火）

マラソン大会時の巡回指導において、生徒の安全な走行路確保に努める。

令和3年度 足柄高校PTA交通安全活動報告書

県立足柄高等学校
令和3年11月10日（水）

(1) 学校周辺の状況(危険箇所)

- ①正門前:本校の正門から道路に出る所は急な下り坂であるとともに見通しが悪く、学校周辺では最も危険であると思われる。注意を喚起するために自転車一旦停止の立て看板(図1)や左右の確認のためのミラー(図2)を設置している。
- ②正門～切通し交差点(下り坂):正門から200mほど坂を下って平坦になる所は他の道路との合流点となっている。自転車ではスピードが出がちとなり危険なので、坂の途中と合流点に立て看板を設置して注意を促している(図3,4)。
- ③切通し交差点:正門から200mほど坂を下って平坦になった所に、坂を下りきった地点には変形十字路の切り通し交差点がある。見通しは悪くないが、自動車の通行が多く危険箇所といえる。

(2) 実施報告(6月30日実施。7月1日は悪天候のため中止)

定期試験の放課後に実施(約1時間)

参加者 P T A 役員10名

実施内容 本校正門付近での声掛け指導

目的 上記危険箇所の①正門前は、一旦停止がなかなか守られずスピードを出して道路に飛び出す生徒も見受けられる(図5)。事故を予防するため、一時停止と左右確認をするよう声掛けをする。

結果

- ・自転車利用の生徒には、スピード・飛び出し注意の声掛けを行った(図6)。ほとんどの生徒は速度を落として、左右を十分確認した。
- ・徒歩の生徒には挨拶を行った。多くの生徒がPTAからの挨拶に応えてくれた。

(3) 今後の活動予定

実施内容 本校周辺の危険箇所(正門、正門～切通し交差点、切り通し交差点)での声掛け指導

実施日 12月3日(金)～6日(月)

(4) その他

指導には素直に従ってくれるが、PTAや教員がいない時でも常に交通ルールを守り、安全に注意を払って通学してもらえようとするための方法を考えたい。



図1



図2



図3



図4



図5



図6

大井高校PTAの交通安全に関する取り組み

新型コロナウイルス感染症蔓延の中、大井高校PTAは細心の注意を払って、教員とともに「自転車点検」「下校調査」を行いました。

その中で、社会問題になっている「歩きスマホ」「ながら操作」を行う生徒を目の当たりにしました。片手でスマホを持ち、画面に集中することで、周囲の危険に対して無防備になります。また、歩くのが遅いので後ろが詰まってしまう可能性があります。自分自身のことだけでなく、相手の気持ちを思いやることが大切です。

自転車点検については、おおむね整備はなされているとの印象を持ちました。

PTAとして、子を持つ親として交通安全について、強く伝え続けていくことが大切だと感じました。

自転車点検について (2021/05/10 実施)

1 自転車の利用状況

生徒数 376人
自転車登録数 161人
自転車点検数 136人
半数近くの生徒が自転車を利用しています。

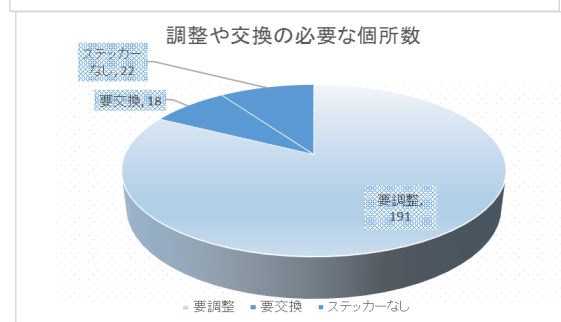
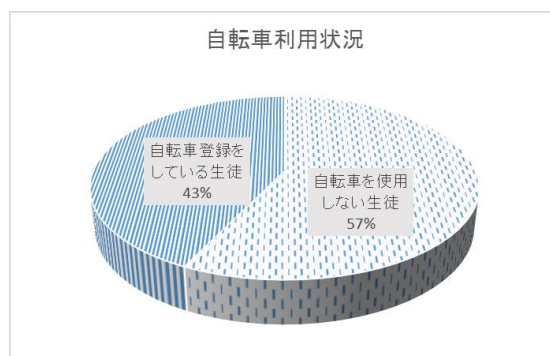
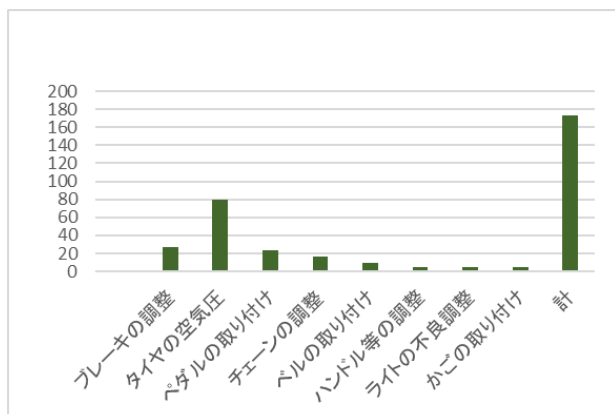
2 点検台数 136台

良好車 25台
点検項目のある車 111台

3 総点検箇所 211

その内容は右のグラフに示す通りです。

4 自転車点検結果



下校調査

下校調査 (2021/06/21 実施)

正門前・栢山土手・開成土手・ファミマ前の4か所で実施しました。その結果、歩きながらスマホ(68%)・歩きながらのイヤホン着用(15%)、そして、歩行しながらの飲食(5%)、「歩きながらスマホ」等「ながら操作」が多いことがわかりました。また、自転車走行中のイヤホン着用(3%)のように交通安全上、かなり危険だと思われる行動も見られました。